

*本件は、英国時間 10 時(日本時間 18 時)に資料を配布し、15 時頃(日本時間 21 時頃)より、英国ケント州アシュフォードにて開所式を開催します。

2007 年 10 月 2 日
株式会社日立製作所

英国における鉄道メンテナンス車両整備拠点の操業を開始

日立製作所(執行役社長:古川 一夫/以下、日立)は、英国における鉄道のメンテナンス会社である日立レールメンテナンス社の英国アシュフォード車両整備拠点(英国ケント州アシュフォード)の開所式を 10 月 2 日に行い、本格的な操業を開始します。アシュフォード拠点では、2009 年 12 月の CTRL Domestic 車両(Channel Tunnel Rail Link Domestic/英国内運行用車両)の運転開始に向けて、順次、日本から英国へ輸入される、29 編成 174 両の試験などを実施し、その後は鉄道車両のメンテナンスを実施します。

CTRL 線は、ドーバーからロンドン市内のセントパンクラスを結ぶ英国初の高速線として、2003 年 9 月に部分開業しました。現在、ロンドンとパリの間を結ぶ大陸間高速鉄道であるユーロスターの英国内での高速化をめざし、専用路線の敷設が進められています。

今回、日立が納入する車両は、CTRL Domestic 車両として、CTRL 線区周辺の在来線経由で CTRL 線に乗り入れ、ケント州地区とセントパンクラスを高速で結ぶ車両として、ケント州地区沿線の通勤などの利用されるものです。車両は 6 両 1 編成のアルミ製車両で、CTRL 線内の最高速度は時速 225 キロメートルです。

今回の受注は、日本国内における新幹線などの高速鉄道車両をはじめとする各種鉄道車両における日立の長年にわたる実績と、日立が世界への拡販をめざす、最新の鉄道技術などの品質と信頼性が高く評価されたものです。特に、日立が拡販をめざしている「A-train」は、素材にアルミを使用した軽くて丈夫な車両で、その製作に関しては、鉄道車両への利用を世界へ先駆けて実現した摩擦攪拌接合を採用するなど、日立の提唱する最新の技術により、実現する次世代の鉄道車両です。

なお、アシュフォード拠点の開所式では、英国運輸大臣のルースケリー氏、在英日本国大使館特命全権大使の野上義二氏が出席する予定です。

報道関係お問合せ先

株式会社日立製作所 コーポレート・コミュニケーション本部 広報部 [担当:竹内、柴谷]
〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号
電話 03-5208-9324(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
